

令和2年度第3回秦野市行財政調査会（行財政経営最適化専門部会）

1 開催日時	令和2年10月26日（月）午後2時00分から午後4時05分まで	
2 開催場所	秦野市役所本庁舎4階 議会第3会議室	
3 出席者	委員	坂野部会長、横溝委員、足立委員、其田委員
	事務局	行政経営課長、同課課長代理、同課担当
	関係課等職員	総合政策課長、同課課長代理、同課担当
4 議題	秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（秦野市総合計画後期基本計画リーディングプロジェクト）に係る令和元年度評価について	
5 配付資料	資料1 まち・ひと・しごと創生総合戦略の外部評価（令和元年度）に係る「経過」及び「今後の予定」について 資料2 秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（総合計画後期基本計画リーディングプロジェクト）令和元（2019）年度評価報告書 資料3 総合戦略におけるK P I（重要業績評価指標）の達成状況一覧 資料4 市による自己評価の総括について（参考）	

## 6 会議概要

### (1) 開会

#### 【事務局】

それでは、令和2年度第3回目の行財政経営最適化専門部会を開催いたします。

本日の出席委員数を申し上げます。委員定数6名中、4名の御出席をいただいております。

調査会規則第6条第2項の規定により会議が成立しましたことを、御報告申し上げます。

続いて、本日使用する資料の確認をさせていただきます。

#### － 資料の確認 －

ただ今の資料に不足等はありませんでしょうか。

それでは、部会長に御挨拶いただき、引き続き進行をお願いいたします。

## (2) あいさつ

### 【部会長】

今回から、総合戦略に係る評価が議事となっていますので、よろしくお願  
いします。議事に移る前に、会議録の署名委員ですが、規定によりまして、  
部会長と部会長が指名した委員1名となっています。名簿順にお願いしたい  
と考えておりますが、本日は田村委員が御欠席のため、足立委員にお願いし  
ます。

それでは、早速、議事に移ります。議事の「秦野市まち・ひと・しごと創  
生総合戦略（秦野市総合計画後期基本計画リーディングプロジェクト）に係  
る令和元年度評価について」説明をお願いします。

## (3) 議事

秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（秦野市総合計画後期基本計画  
リーディングプロジェクト）に係る令和元年度評価について

### 【総合政策課】

－ 資料1に基づき説明 －

### 【部会長】

事務局から説明がありましたが、御質問・御意見等ありますでしょうか。

### 【委員】

総論としてお聞きしたいのですが、昨年の報告について、各部署にフィー  
ドバックをし、それをもとに今回新しく作成するということが、各部が  
この問題をどのレベルまで、ミーティングしているのでしょうか。

### 【総合政策課】

課長宛の通知を出し、その中で議論をし、そして最終的には部長まで決裁  
をしています。

### 【委員】

総合政策課としては、昨年の答申を含めて、各部署に説明しているとい  
うことでしょうか。

### 【総合政策課】

そのとおりです。昨年の審議において、様々な視点での御意見をいただい

たと思いますので、そのポイントだけでなく、総括も含め、各部署にフィードバックをしています。

**【部会長】**

そうした中で、今回、改善点やポイント等がありますでしょうか。

**【総合政策課】**

主に、昨年度の御審議の中では、自己評価についての御意見をいただいていたことから、その部分については、しっかり自己評価をし、それに対して総括をし、御意見を取り入れるという、PDCAサイクルを踏まえて作成しています。

また、今年度からは総合計画の審議会を開いていることから、新しいものにどう活かすかという視点が重要であると考えており、そこに重点を置いています。

**【部会長】**

その他、御質問や御意見等よろしいでしょうか。

— 御意見等なし —

**【部会長】**

それでは、次に進みたいと思います。

**【総合政策課】**

— 資料2（P1からP15まで）、資料3及び資料4に基づき説明 —

**【部会長】**

事務局から説明がありましたが、御質問・御意見等ありますでしょうか。

**【委員】**

秦野市に限らず、他の自治体においても、4月から9月はコロナの影響で公民館などが制約を受けていると思います。

当然、それは市の施策に影響を与えることだと思います。そのあたりを、現場の皆さんが、大変苦勞されていることを、今後の課題も含めて、反映されていないというのはどうなのかなという思いがあります。

正直、去年の課題と比較しても、ずっと列挙してあるだけと感じます。状

況が変わっているわけで、現場での課題として、職員の皆さん、大変苦勞されており、多少なりともK P Iを変えてしまおうという考えがあつていいと思います。

疑うわけではありませんが、これが、上層部だけの作文になっているのではないかと考えてしまいます。大変失礼ですが、もっと現場には生々しい声があるのだと思います。

新規の追加等の項目は、割と成果が良いものが挙げられていると思います。その辺のところは、逆に総合政策課の職員又は行政経営課の職員がもう少しうまくリードするといいと思います。全般的にそのように感じました。

中には昨年と同じような取り組みで改善されているものもあると思います。全くその辺がないというわけではありませんが、その辺のところは少し昨年の内容と同じようなものが多いと、そしてそれは大変残念だなと感じました。

#### 【総合政策課】

数値や実績は、令和元年度というところで、コロナの影響で言えば、2月から3月にかけての数値ということになります。様々な事業で中止となったこともあります。大きくは、来年に反映されると考えています。

ただし、そうは言っても令和元年度としての取り組みの中でコロナがあつたわけですから、どこかで、そのような記載を加えたいと思います。

そういった中で来年度の評価にもつながると思います。どこかで、そのあたりの記述を考えたいと思います。そうした中で、来年の報告の中に反映が出来ると思います。

#### 【部会長】

コロナで支障が出た、又は出てきた事業は、イベント系の事業でしょうか。割合としては、どのぐらいなのでしょう。

#### 【総合政策課】

今年度は、不要不急のものについては、予算の執行停止を行いました。現在、御審議いただいている昨年度の分については、目に見えづらいものがありますが、来年度の報告の中では、より分かりやすく表現できると思います。御意見を踏まえ、より現実に沿った形で、丁寧に作り上げていきたいと思えます。

#### 【部会長】

そのことに関連してなのですが、自己評価で、コロナの状況であつたため

清掃が中止となり、B評価にしたものがあつたと思います。

その考え方としてですが、それであればC評価で良いのではないかと思います。その中で、コロナでやむを得なかったというコメントで良いのではないかと思います。出来なかったとすると、その事業に対して、他に代替的なものを行えなかったのか等の検証が必要だと思います。

それをやむを得ないものと認識してしまうと誤った評価につながると思います。

#### 【総合政策課】

その事業自体に対する評価をし、その効果や影響を次につなげることが重要であるということだと思います。

また、そうした中での代替案を評価すべきということだと思います。

そうしたことでよろしいでしょうか。

#### 【部会長】

そのとおりです。

#### 【委員】

例えば、河川清掃がコロナの影響でできなかったということについての説明がありました。

この河川清掃は、市にとって大変重要なことであると思います。

それに対して、例えば、市民に明日の朝の河川清掃は中止になりますが、各家庭で工夫して実施してほしいというアナウンスをするなどをした場合には、それは評価をすべきだと思います。

それぞれの事業には、ハードとソフトの両面があると思います。

以前も申し上げましたが、国の予算が取れなかったため、事業が思うようにできませんでしたという報告がありました。そのため、評価はこのような形になっていますということでした。

そうではなくて、予算がつかなかったけれども、その分、他の代替の施策を行いましたということであれば、評価をすべきだと思います。そのような工夫を全市的に行うべきだと思います。

#### 【総合政策課】

コロナで言えば、今年の8月頃に、総合計画全体としてのヒアリングを行いました。その中で、新たな生活様式に対応した取り組みに係る項目を入れました。

4月から行っていることについて、継続的なものも含め、新たな日常に対する取り組みについての説明を求めました。

そういった姿勢は忘れてはいけないと思います。プラスに変えるということだと思います。そこは改めて考えていきたいと思っています。

#### 【部会長】

委員が御指摘されたのは、10番の歩道の整備のことだと思います。前回は同じ議論があって、歩道整備で地権者交渉が難航しているという状況で、それは、ハード整備ではなくて、地域ぐるみで見守りをするということもあると思います。

そうしたことを行うことで、安全の確保ができることもあると思います。その点は、ハードとソフトの両面で考えなくてはいけないということだと思います。それに対して、目標の達成という評価をすべきだと思います。

それだけに限らず、本来の目的に対して、所管課の範囲を超えたケアの仕方を考えるべきだと思います。

#### 【総合政策課】

事業にプラスするという視点が、足りないのだと思います。

例えば10番ですと、かなり大規模なハード事業だと思います。歩道整備とあるのですが、歩道の拡幅をする事業となっています。

用地買収をしながら、歩道の整備をするという事業です。特にメインというのが市道9号線で、東海大学前駅の踏み切りの北側の辺りとなります。このような大きな事業は、こうした記載になってしまうと思いますが、もう少し小さな事業に対しては、委員の御意見のとおり、ケアをしていきたいと思っています。

例えば、生活道路の事業などがありますが、委員の御意見の視点で、改善をしていきたいと思っています。グリーンベルトや交通安全の標識を作るなど、そういった取り組みもあります。交通安全や道路関係の部署に対して、そうした周知をし、取り組みも進めていきたいと思っています。

#### 【部会長】

例えば、9番なのですが、昨年度よりも良くなったという評価だと思います。それはいいことだと思います。

また、15番ですが、高齢化の理由で活動中止団体が増えているということでした。そして、その一方で、新規登録の推進が順調に進んでいるということでありました。そこに感じる事は、何か特別な努力をしたから、実績に現

れたのかということですが。

それらの区別が必要だと思えます。理由が分からないけれども、上手くいっているというのは、理由を確認すべきだと思えます。

増えた団体はどのような団体なのか、なぜそのような団体が増えたのか、何かアプローチの仕方を変えたのか、ということが分からないため、評価が難しいと感じます。

#### 【総合政策課】

増えた団体については、カルチャーパークのバラ園におけるボランティア登録制度を開始したことから、登録団体が増えたと担当課から聞いています。

従来、対象となっていなかった場所を、対象としたことから登録団体が増えたというものであります。

#### 【部会長】

そうだとすると、長期的に考えたとき、高齢化により、また団体は減ると思います。短期的にはいいと思うのですが、長期的には同じ傾向になると思います。あまり明るくない理由だと思えます。このようなことは、次の施策展開のときには、よく考えるべきだと思えます。

また、22番の店舗数の件も同様だと思えます。長期的に見ると、店舗数は減っています。そういった実態がある中で、店舗数を指標にするのがいいのかということがあると思えます。

したがって、これでA評価で順調ですと示されてしまうと、若干の違和感があります。

#### 【委員】

店舗数については、部会長も仰っているように、積極的にPRしているお店もあると思えます。そのような情報が掴めていれば、それと併せて施策を考えていくべきだと思えます。

市の店舗の傾向は、統計でこのような形になっていますと分析されていれば、いいと思えますが、ただ店舗数が減っているという分析だけでは不十分だと思えます。KPIとして評価することについても、どうなのかと感じます。

#### 【部会長】

この28店舗について、例えば、新規店舗で営業継続した方が、どのような方なのか、どのような商売をされている方なのか、これから発展していくで

あろう業種なのか、そうしたことを理解した中で、評価をすべきだと思います。

**【総合政策課】**

御指摘のとおり、何件継続営業しているというよりは、後継者の問題などもあると思いますし、そうしたことの対策など、そういった視点が欠けており、不十分な点があったと思います。

**【部会長】**

記入するスペースが小さいことから、その辺の背景に触れるのは難しいと思いますが、そのように感じます。

細かい話なのですがKGIについてですが、web アンケートで、平成 26 年が 91.4%ということですが、平成 30 年は先ほどの説明ですと、73.3%ということでしたが、そのとおりでしょうか。

**【総合政策課】**

先ほど、平成 26 年の 91.4%から 73.3%に下がったという説明をしましたが、平成 26 年は基礎調査と言って、総合計画の関係の調査での数値となり、先ほど説明した 73.3%はベースが異なるもので説明をし、ベースを合わせますと、88.8%となります。

**【部会長】**

年間転出超過者数についても、これもコロナの関係で影響があるんだと思います。

**【総合政策課】**

これに対しては、今年の 10 月時点でマイナス 170 という状況になっています。

**【部会長】**

データというのは、背景にある要因をよく評価をしないといけないと思います。次の総合戦略を立てるときは、そういったことも考えなければならぬと思います。

その他、御質問や御意見等よろしいでしょうか。

— 御意見等なし —



**【部会長】**

それでは、次に進みたいと思います。

**【総合政策課】**

－ 資料2に基づき、P17からP22まで説明 －

**【部会長】**

事務局から説明がありましたが、御質問・御意見等ありますでしょうか。

**【委員】**

日赤の分娩の関係ですが、もう6年位前から課題になっていると思います。その間、進展がないと思います。伺っている限りですと、県としては、このエリアの中で、充分カバーができるという認識と伺っています。

このことから、県は積極的に対応しないのではないかと感じています。

**【総合政策課】**

現在、人が少なくなってきており、1自治体ごとというよりも、湘南西部エリアで、県は考えていると思います。

ただ、市としては、緊急的な対応はそれでいいのかもしれませんが、日常的な対応としては、不安が残るところだと思います。身近な分娩体制が整っているかということは、大きな課題だと思います。

**【部会長】**

そういったことに対して、市民はどのような評価をしているのでしょうか。不便に感じているのでしょうか。

**【総合政策課】**

総合政策課は、県への要望を出す部署でもあることから、この日赤に関しても要望を出しています。

担当課においては、現に聞いたり、アンケートをしたりしていると思います。また、例えば、親族などを考えたときには、近くに身近な病院があることは、より安心だと思います。

**【委員】**

逆に、市民は、冷静に見ているのだと思います。こういった項目をいつま

でも上げておく必要があるのか、疑問に感じます。

#### 【総合政策課】

小田原が行っているように、個別病院を誘致するというだけでもいいと思います。何かそういった形が、一つでも二つでもできるといいと思います。

#### 【部会長】

どうしても、市として必要だということであれば、それ相応の財源や対策を考えなければならないと思います。

財源や手当という努力を示すということが必要になると思います。秦野市で生まれて育つということに関して、そういったライフスタイルを考えたときに、サービスを提供してもらうための病院側のインセンティブを考えるべきだと思います。必要だが出来ませんでしたという状況が続いてしまうと思います。

#### 【総合政策課】

伺っている限りですと、人がいないと聞きます。お金の問題というよりも、人がいないということを知ります。

また、日赤が受ける場合には、チームとして受けると思っています。例えば、6人とかそういった中で、大きな病院としては、チームで編成できないと請け負うことができないと聞いています。

そこには、経営の仕方や考え方があると思います。大きな病院で医療を提供するということになる、このチームでの対応に係る体制の確保が課題ということだと思っています。

#### 【部会長】

そういうことなのであれば、日赤にチーム編成をしてもらうということだと思います。その中で、日赤にとってメリットがないといけないと思います。そうでないと、なかなか難しいと思います。

#### 【委員】

それから、産婦人科医はリスクが多いと聞きます。それにより、産婦人科医は、なり手が不足していると聞きます。日赤のような大きな病院であれば、365日対応することになると思います。そして、24時間体制になると思います。医者、看護師、スタッフ等を入れたら、総勢10人ぐらいのチームになるのかもしれませんが。チームでの運営を考えたとき、非常に難しい問題だと思

います。

**【委員】**

何の統計も取ったわけではありませんが、うちの職員で若手の職員もおりますが、特別困っている様子はありません。大根地区や鶴巻地区では、距離的に伊勢原の方が早いということもあると思います。

先程の話に繋がるかもしれませんが、この事業だけというよりも、ソフトも含めて考えるべきだと思います。それが、何より効果的なものになると思います。

**【委員】**

アフターコロナの話になると思いますが、相対的に見たとき、ものをつくりました、形をつくりました、それだけでは足りないと思います。

それを縦割り管理ではないところで、どのようにソフトを提供できるのか、ということだと思います。それらが、各自治体での競争になってくる時代だと思います。

**【部会長】**

市民の立場に立った総合的な施策展開ということだと思います。

どの事業を考える中でも、そうしたことは考えなければいけないと思います。事業の進捗が遅れているようなものについては、特にそういった発想が求められると思います。

**【委員】**

22 ページの 42 番については、思い切って止めてしまうという選択も考えなければいけないと思います。

このような項目があると、担当職員は対応を迫られるんだと思います。

**【部会長】**

アンケートでは実際に支援があっても、同居したいと思う世帯よりもしたくないという世帯の方が多いようです。

**【総合政策課】**

これは、もともと少子化対策で、現在、新しい総合計画においては、この視点ではなく、同じ少子化対策ですが、結婚支援のほうにシフトしています。

**【委員】**

この3世代の取組については、上手くいってるという状況はあるのでしょうか。

**【総合政策課】**

地方では成功している事例があると思います。

**【部会長】**

この事業の目的は、同居を実現するためということですが、そうではなくて子育ての施策であるということです。そうすると、これに代わる施策を考えるべきだと思います。そのような形に、改めたほうがいいと思います。

**【委員】**

43番のワークライフバランスについてですが、例えば、リモートワークも含めて、もっと力を入れていいと思います。そうすると、子供の面倒を見る時間も増えると思います。

**【総合政策課】**

委員が仰ったように、総合計画審議会の中では、秦野市はコロナ禍において、首都圏から1時間で来れて、自然もあり、水もおいしいということで、そういう視点で、定住人口を増やすという必要性について御意見をいただいています。そうしたピンチをチャンスに変えるという視点での取組についての御意見をいただいています。

**【委員】**

例えば、中栄の協力をいただいて、リモートワーク向けに改修する費用等に係る施策や、リモートワークのために秦野に引っ越してくる場合における不動産業者に有利となる施策など、様々な施策が考えられると思います。

**【委員】**

最近の建て売りの中では、書斎付きというのが人気と聞きます。

**【部会長】**

35番の長寿命化についてですが、件数は進んでいないが、質的に快適化工事が進んだことから、B評価ということでありましたが、これでいいのかなという思いを抱きました。

### 【総合政策課】

もともと目標の4件というのが、中学校と小学校を指定しての4件ということでありました。そのうちの1件を行うことで、1件プラスとカウントすることとなっています。逆に、そこに入っていないものについては、改修をしてもカウントしないということとしています。

したがって、設定していたものに対する実績としては、2件ということとなります。

### 【部会長】

そうなると、指標に問題があったということだと思います。より適切な指標があったということだと思います。この指標の場合、改修をしても、指定されていない学校の場合には実績とならず、低く評価されてしまうということだと思います。本来の事業目的からすれば、快適化が進むということによって評価されるべきだと思います。

### 【委員】

34番の西中学校の体育館の関係ですが、今後の課題等について記入はされていませんが、複合的な施設であることから、住民に対して、何かマニュアル整備を急ぐですとか、そういった取組が求められると思います。

そういうものが、今後の課題になってくると思います。着手したから、今後の課題がないということだと思いますが、それを踏まえて、地域住民に対して、どのような課題があるか、ということを考えるべきだと思います。

### 【部会長】

ハード事業全てに対して言えることだと思いますが、出来たら終わりではなく、うまく運用する、活用するという発想が必要だと思います。

価値をつけて、運用するということになれば、必ずしも所管課だけではなく、他の部署にも跨る話になると思います。複数の視点から、見る必要があると思います。

それからタブレットの話がありますが、現在タブレットも普及していると思いますので、この数で大丈夫なのかと感じます。

### 【総合政策課】

これはGIGAスクール構想前の計画でありまして、1学年に1つ、40人に1台という計算だったと思います。これとはまた別の事業で、1人1台購

入をしているものがあります。生徒1人1台というもので、小中学校で配備をするということになっています。国から交付されるお金もあり、約8000台の購入をし、充実させたところであります。

**【部会長】**

その他、御質問や御意見等よろしいでしょうか。

－ 御意見等なし －

**【部会長】**

それでは、次に進みたいと思います。

**【総合政策課】**

－ 資料2に基づき、P23からP28まで説明 －

**【部会長】**

事務局から説明がありましたが、御質問・御意見等ありますでしょうか。

**【委員】**

46番のところですが、空家率はどのようでしょうか。

**【総合政策課】**

今年度の空家の件数となりますが、1100件ほどだったと思います。固定資産台帳とマッチングをし、職員が現場に行って、確認をしている状況で、空家率については、詳細な数字は分かりかねますが、全国より低いと聞いています。

**【部会長】**

今のところは、そんなに問題は深刻ではないというような状況でしょうか。

**【総合政策課】**

空家というのは、管理不全の空家が問題であると言われており、この管理不全空家に関して法的なアプローチの仕方がないと、特定空家となると、法の適用になるということになっています。

この法の適用とならないものについては、行政指導の範囲となり、根拠がないということでもあります。したがって、今後は条例を作るという方向性を

聞いています。管理不全空家を、強制的な形で執行できるようにする考えです。

**【部会長】**

その対象の指標としては、地元から問題が上がってくるというものや、課題解決がなかなかできないというものを対象にしていくのでしょうか。

**【総合政策課】**

おそらく何件か既にそういった空家があるため、条例制定ということだと思います。

**【部会長】**

それは傾向として増えてきているのか、そこまで大丈夫だということなののでしょうか。

**【総合政策課】**

一人暮らしの高齢者が増える中、今後は増えてくるのだと思います。

**【委員】**

道路に放置されている軽トラックがあり、それが9か月間、放置されたという事案があったと思います。これを強制的に執行する根拠法がないと伺っています。道路管理の部署も困っていると伺いました。

**【部会長】**

それは不法投棄ではないということなのだと思います。

**【総合政策課】**

それに関しては、所有者が分かっていると聞いています。また、訴訟をし、勝訴をしたものの、実際の強制執行にまで至っていないと聞いています。

**【部会長】**

51番のところ、実績は96%ということでした。そういった中、本来B評価であるにもかかわらず、A評価にしたということでありました。その理由として、民生委員の充足率を全国平均以上を達成したためということでありました。

それは分かるのですが、目標を全国平均に設定して達成したということ

あれば良いと思いますが、そうではなくて、ここまでしたということに対する評価で良いのかと感じます。

このため、何か違う理由ではないと、A評価には出来ないのではないかと思います。

また、サロン活動についてですが、例えば、アクセスしたい人たちのカバー率のようなもの、そのような観点から評価するという考え方があると思います。その場合、指標は数ではなく、率という指標が妥当だと思います。

**【総合政策課】**

エリアで捉えることですか、率という考え方も含めて考えていかなければいけないと思います。

**【部会長】**

その他、御質問や御意見等よろしいでしょうか。

－ 御意見等なし －

**【部会長】**

それでは、次に進みたいと思います。

**【総合政策課】**

－ 資料2に基づき、P29からP34まで説明 －

**【部会長】**

事務局から説明がありましたが、御質問・御意見等ありますでしょうか。

**【部会長】**

70番の観光地の観光客数についてですが、KGIはカウントの仕方を変えたという説明がありましたが、この主要観光地の観光客数についても同様にカウントの仕方を変えたのでしょうか。

**【総合政策課】**

こちらについてもカウントの仕方が変わっております。

**【部会長】**

そうだとすると、カウントの仕方が変わった中で、指標を達成している



ということになると思います。本当は達成していないという可能性もあると思います。

地点を追加したということですが、その追加した地点を除き、集計することで、その確認が出来ると思います。従来と同じ指標により比較をする必要があると思います。

**【委員】**

先ほどの説明において、じばさんずを観光客の地点に加えたということでしたが、じばさんずは9割方が市民が野菜などを購入している状況だと思います。そこを観光客数のカウントにするのはおかしいのではないかと感じます。このじばさんずの利用者については、市内外の区別はしているのでしょうか。

**【総合政策課】**

じばさんず利用者について、市内外で区別はしていない状況です。

**【委員】**

そうなのであれば、きちんとアンケートや外部から来る車の状況などを踏まえて、判断すべきだと思います。そういった一定の数値を持つべきだと思います。

市民が、他のスーパーではなく、じばさんずに行っているだけのことだと思います。このため、カウントの仕方を考えるべきだと思います。そういったことを考えないと、観光施策そのものがおかしくなってしまうと思います。先程のカウント数を変えましたという点ですが、表丹沢野外活動センターだったと思いますが、あれは非常に良いことだと思います。実態に合わせた見直しをするということが大事だと思います。

県から、そこは観光客とカウントしていいと言われたからといって、市としての施策を考えたときには冷静に検討すべきことだと思います。

**【部会長】**

データが一番実態を示すことから、大事なことだと思います。

表丹沢野外活動センターの話ですが、お風呂だけを利用する人というのは、カウントに入っているのでしょうか。

**【総合政策課】**

お風呂だけの人を入れておりません。

**【部会長】**

純粋な効果を見るために指標を変えましたというのは、すごくよく分かることです。その時に、その数字で過去に遡り比較することは出来るのでしょうか。

**【総合政策課】**

遡れると思います。

**【部会長】**

そうなのであれば、それと比較する必要があると思います。それで、施策の方向性を決めていくべきだと思います。

**【行政経営課】**

外部から来た人というのは、内部のキャンプ場に来た人にお風呂等を解放したということだと思います。山登りなど、外部から来た人に対して、お風呂を提供したということではないと思います。キャンプ場の宿泊利用者に対して、お風呂を提供しているということだと思います。

**【総合政策課】**

そのとおりです。

**【委員】**

市内のじばさんずについてですが、中学校給食との連携や供給体制、これらが各農家からの高齢化も伴ってだと思いたすが、脆弱だと思いたす。

**【総合政策課】**

供給については、じゃがいもの形は、このようなものにしていただきなどの規格が厳しかったと聞いたす。

ちょっとしたことも含めて改善をして取り組んでいる最中だす。その中で、供給体制も含めて検討していきたくいたす。

**【部会長】**

その他、御質問や御意見等よろしいでしょうか。

－ 御意見等なし －

【部会長】

それでは、次に進みたいと思います。

【総合政策課】

－ 資料2に基づき、P35を説明 －

【部会長】

事務局から説明がありましたが、御質問・御意見等ありますでしょうか。

－ 御意見等なし －

【部会長】

ありがとうございました。それでは、以上でよろしいでしょうか。  
他になれば、事務局から、連絡事項等をお願いします。

【事務局】

先ほど、総合政策課からお知らせしましたとおり、委員の皆様にはこの総合戦略に係る評価コメントをいただきたいと考えております。

そのコメントに係る様式についてですが、本日紙ベースでお渡ししておりますが、後ほどメールで同様式を送付いたしますので、メール又はファックスにより御提出をお願いします。

それから、次回の会議日時ですが、11月18日（水）午前10時からを予定しており、議事は総合戦略及び地方創生推進交付金についてとしております。

【部会長】

それでは、本日は以上とします。ありがとうございました。

－ 閉会 －